

## 第23期第1回（令和6年度第2回）池田市図書館協議会会議録要録

日 時：令和6年11月17日（日）午前10時～11時30分

場 所：池田市立図書館 多目的室

出席者：（委員）小倉委員、平野委員、柏委員、金子委員、中嶋委員、向田委員、入江委員、  
久保田委員、布村委員、森脇委員  
（事務局）小林教育部長、西田生涯学習推進室長、塚原図書館長、林石橋図書館長、  
他職員2名

欠席者：なし

傍聴者：なし

議 題：（1）令和5年度池田市図書館の運営に関する評価について  
（2）その他

配布資料 ・第23期第1回（令和6年度第2回）池田市図書館協議会出席者名簿  
・令和5年度池田市図書館の運営に関する評価（案）  
・図書館システムのリニューアルについて  
・池田市図書館協議会の会議の公開に関する要領  
・池田市の図書館活動 令和6年版（令和5年度統計）

---

<小林教育部長挨拶>

<委員の委嘱>

<委員紹介>

<役員選任>委員の互選により、会長に小倉委員、副会長に柏委員を選任

<会長挨拶>

<副会長挨拶>

---

会 長 令和5年度池田市図書館の運営に関する評価（案）について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 前回の協議会での評価結果、ご意見と結果の分析及び改善策の部分についてご確認いただき、本日の会議で決定した内容を、図書館ホームページで公開させていただきます。

会 長 新しい委員の方もいますので、あらためてご質問があれば言ってください。

委 員 「①多様な資料・情報の収集、整理、保存に努め、市民の読書活動を推進します。」の項目のうち、資料の選書や市民からのリクエストへの対応について、お伺いしたいです。

事務局 資料収集方針に基づいて選書を行っております。リクエストについては選書委員会で購入を検討し、どのような資料を収集していくかを決定しています。

委 員 利用者からのリクエスト件数は多いのですか。

事務局 リクエストは統計的には予約件数に含まれておりますが、割合的には既に所蔵している資料への予約の方が多いです。発売前の資料や未所蔵の資料は購入を検討しますが、過去に出版されたものなど、購入が難しい資料につきましては、他館からの取寄せを行い提供する場合もございます。

委員 寄贈については、図書館として寄贈してほしい分野などはあるのでしょうか。

事務局 基本的には郷土資料や、予約が多数かかっているベストセラー本は寄贈をお願いしており、図書館ホームページにもFAQのページに寄贈に関する項目を掲載しています。

委員 寄贈をする際は事前に図書館へ連絡したほうが良いですか。

事務局 図書館ですでに所蔵している場合もありますし、スペースの関係もありますので、事前にお問い合わせいただいた方がスムーズではありますが、先ほど申し上げました郷土資料や予約多数本につきましては、事前のご連絡は無くてもご寄贈いただきたいです。

委員 「図書館への来館が困難な市民へのサービス充実」について、令和5年度は電子図書館サービスを開始されましたね。実際の本を棚で探すような「試し読み」という機能もあり、普段手に取らないような本も、電子図書館だと気楽に試し読みができて良いと思います。来館できる人とできない人の両方が幅広く利用でき、今後期待ができるサービスだと思いました。

事務局 電子図書館はいつでもどこでも利用できるサービスとして、体験会等も定期的を開催し、利用促進に努めていきたいと考えております。

委員 令和5年度の貸出人数や貸出冊数の増減傾向についてお伺いします。新型コロナウイルス流行の影響もあったこととは思いますが、貸出人数が増加し冊数が減少しているという傾向は、コロナ前から見られたのでしょうか。それともコロナ明けからこういった傾向が見られるようになったのでしょうか。

事務局 新型コロナウイルス流行時は予約本のみ貸出を行っていた時期もありますので、その期間は比較しにくいのですが、令和5年度までは基本的に貸出人数と貸出冊数の上昇は比例傾向にありました。それが令和5年度になって貸出人数が増加するも貸出冊数が減少するという結果となり、現在も同様の傾向がみられます。こちらについては利用者層の変化によるものではないかと推測していますが、長期的な注視が必要と考えております。

委員 以前の傾向と異なってきている点が気になる場所ですね。

事務局 今年度の利用傾向をみても、前年度に比べて高齢者層の利用が増加し、子育て世代は減少しています。また、コロナ前および駅前に移転前の図書館は五月丘にあり、アクセス面で利用しづらいという点がありました。駅前に移転したことによって、まとめて借りなくてもよいという利用者が増えた可能性もあると考えております。

委員 私も図書館の移転前は、一度にまとめて借りていました。場所のメリット・デメリットが影響している可能性もありますね。

会長 他になにかご意見ご質問はありますか。

委員 「ヤングアダルトサービスの充実」についてお伺いしたいのですが、10代の読書離れがよく言われており、読書は思考力を高める点においても重要だと思います。ヤングアダルト世代、特に高校生や大学生への利用推進について、図書館としては今後どのような方針や計画があるのでしょうか。

- 事務局 全国的にもヤングアダルト世代の利用は少ない傾向にあり、当市においても課題だと認識しています。図書館では丘の上の図書館として五月丘にあった際から10' sコーナーを設置しており、駅前に移転する際にその面積を広げました。手に取りやすいよう表紙が見える配架を行い、ヤングアダルト世代の興味関心に合わせたコーナー作りや、テーマ展示を行ってホームページにブックリストを掲載し、電子図書館にも特集を作成するなどの取組みを行っています。また、図書館への来館を促すために1日司書体験や職場体験を通じて電子図書館やオンラインデータベースの使い方の案内なども行っております。
- 委員 若者の読書離れは大きな問題ですね。図書館は選書を元に、信頼性のある資料を収集していると思いますが、インターネットには信頼性の低い情報も多くあります。中学生でスマートフォンを持っている子はいらっしゃると思いますが、小学生はどうなのでしょう。
- 委員 小学生では高学年からスマートフォンを持つ子も増えています。週に1度の読書の時間はありますが、図書館見学などで本に親しむ機会をもつのは大事だと思います。読書をする子としない子で二極化しているように思います。
- 委員 学校で紙資料での学習もある程度は行っていると思いますが、配布されたタブレット端末を使用するなど、ペーパーレス化も進んでいます。自宅に雑誌などの冊子も無いなど、紙に親しまない世代が親となり、コロナ禍以降、学校のカリキュラム自体も変化してきています。図書館から発信することも大事ですが、学校で5分や10分でも、読書することの習慣づけを行うことも長い目で見て大切なのではないのでしょうか。
- 事務局 オンライン資料にも資料内容の検索ができる、紙資料よりも新しい情報が掲載されているなど、それぞれに良さや利点があります。図書館で利用できるオンラインデータベースはインターネット情報の中でも信頼性のあるものですので、こちらについても使い方などを案内し、発信していきたいと考えております。
- 委員 生成AIの話題もよく出ますが、AIはインターネットの様々な情報がベースになっているために、作成されたものは出鱈目なものも多くあります。図書館にある信頼性の高い情報や書籍などの資料は大変重要だと思います。
- 委員 図書館は以前に比べて展示にも力を入れておられるように思います。展示への取組みは若い方の集客にもつながるのではないのでしょうか。
- 事務局 郷土コーナーの期間展示として行ったウォンバット展示を、五月山動物園や市の担当課と連携してグッズの展示も行い常設コーナーとしたところ、観光帰りに立ち寄る利用者も見られるようになりました。池田市の情報発信ができるような展示も検討していきたいと考えております。
- 委員 来館者が増えることで、本の利用増加にもつながりそうですね。
- 委員 来館を促す取組みということで、以前は図書館まつりを開催していたと思いますが、現在もそういった催しはされていますか。イベントの開催と合わせて本に触れる機会があると良いと思います。
- 事務局 移転にともなって以前とは形式が変化していますが、読書週間に合わせて、ボランティアの活動紹介や体験コーナーなどのイベントを、時期を分けて開催しています。また、6月にせせらぎモールで開催された「おさんぽマルシェ」にも図書館として参加し、おはなし会や本の出張貸出イベントなどを行いました。

- 委員 五月山児童文化センターでは実験教室なども開催しています。図書館にある理科関係の資料を活用してコラボを検討してみるのも良いと思います。
- 委員 インターネットと本の情報合戦に図書館が入っていることに、違和感があります。本には発信者が目に見える信頼性があります。情報の新しさ、多様さで言えばインターネット情報の方が有力でしょうが、図書が無くなることもないと思いますので、図書は図書、インターネットはインターネットとして、図書館の良さをシンプルにアピールしていけば良いと思います。
- 事務局 図書館としましても、紙の本の良さを大切にしながら、最新の情報を補足するという形でデータベースを提供し、紙資料とデータ資料、双方の魅力や利点を発信していきたいと考えております。
- 委員 個人的には、本を読んでいる方が言葉として伝わってきます。図書館からどんどん図書の良さを発信していただきたいと思います。
- 委員 私は古い資料や作品を読むことが多いのですが、図書館で古い資料を手にとったとき、買い替えが行われているものをよく見かけます。古い資料でもきれいな状態で読むことができ、とても良いと思います。
- 事務局 傷みのあるものは適宜買い替えを検討し、適切に蔵書管理を行っていききたいと考えております。
- 委員 歴史民俗資料館とコラボして古文書の展覧会などのイベントを開催するのはいかがでしょうか。
- 事務局 展示ケースが無い場合、貴重資料を展示することは難しいですが、手に取って見てもらえるものがあれば、展示可能かもしれません。歴史民俗資料館とのコラボとしては、学芸員による講演会の開催を12月に予定しております。
- 委員 学生や子育て世代を図書館へどのように呼び込むかについて、茨木市にあるおにクルは図書館や子育て支援施設、プラネタリウムなどの複合施設ですが、子育て世代の来館者が多いと聞きます。来館者が図書館利用につながっているかはわかりませんが、複合施設内での連携事業に取り組むことは呼び込みに効果があるのではないのでしょうか。石橋図書館もツナガリエ石橋という複合的な施設である点を積極的にアピールしていったら良いと思いますし、今後を期待しています。
- 事務局 市内の公共施設も全般的に老朽化が進んでおり、今後の整備面では複合化という形で計画しているところではありますが、たとえば図書館がその施設に無い場合でも、施設内でイベントを行うなど、図書館の関わり方についても今後検討してまいります。
- 委員 今後、情報化社会が高度になるにつれて、情報に対して使える人、使えずに取り残される人の二極化が進むのではないのでしょうか。図書館は情報拠点として、市民に寄り添い、市民の情報リテラシーを向上させる取組みが必要だと思いますが、どのようにお考えですか。
- 事務局 電子図書館を例にあげますと、スマートフォンに慣れている利用者はスムーズに利用できますが、そうでない方はログインの方法から戸惑ってしまう方もおられます。端末やインターネット利用に慣れていない利用者に向けて、電子図書館や図書館ホームページ利用の体験会は今後も定期的な開催を検討しており、また、オンラインデータベースにつきましても、使い方講座を開催し、初心者の方にもご案内していきたいと考えており

ます。

委員 使い方と合わせて、情報の検索方法やレファレンス、調べ方の講座なども開催していただきたいです。

委員 チャットGTPを使う際も、キーワードの入力によって結果が全然違います。そういった検索のコツというか、調べ方を案内する取組みも視野に入れていただけると良いと思います。

事務局 図書館として、今後も努力してまいります。

委員 先ほど話題に上がった茨木市のおにクルですが、以前利用した際、ベランダに本を持ち出して読んでいた姿もみられました。座席も多く、長時間滞在できるようでした。池田市は両館とも駅からの利便性はとても高いですが、館内で過ごすための空間づくりにも力を入れてほしいです。

事務局 図書館に限らず共同利用施設などにも市民の方が利用できる図書のコーナーがありますが、昔に比べると利用が少ないようです。こちらも積極的に発信していきたいと考えております。

委員 読書だけではなく、のんびりできるような居心地の良い空間を子どもたちに持たせてあげたいですね。

会長 さまざまな意見をいただきましたが、事務局でまとめて検討していただきたいと思えます。令和5年度池田市図書館の運営に関する評価については、皆さん承認でよろしいでしょうか。

委員 異議なし。

会長 それでは、その他の議題について、事務局から説明をお願いします。

事務局 その他の案件としまして、図書館システムのリニューアルについてご説明いたします。

<事務局説明>

委員 現在図書館カードを利用している人がスマートフォンでカードを利用するためには、どのようにしたら良いですか。

事務局 図書館ホームページの利用者のページにログインしていただくことで、どなたでもデジタル図書館カードを表示することが可能です。

会長 スマートフォンで画面を提示することで、貸出などの手続きができるのですね。今後は図書館カードの発行枚数削減を図るとのことですが、今後図書館としては図書館カードの発行を減らしていく方針なのでしょうか。

事務局 ペーパーレス化という面もありますが、現時点では電子図書館だけを利用したいという方も一度は図書館に来館して利用者登録をしていただく必要がありますので、システム更新後は一度も来館することなく電子図書館の利用が可能になるという点をPRしていきたいと考えております。

委員 アプリなどで利用できるのでしょうか。

事務局 アプリではありませんが、システム会社の方では今後アプリ化も検討していると聞いております。

会長 それでは、連絡事項について事務局から説明をお願いいたします。

事務局 連絡事項につきまして、3点ご報告させていただきます。1点目に、来年度の図書館協議会ですが、現時点で大きな事業等もございませんので、年2回の開催を予定しており

ます。2点目に、今回の運営の評価でも改善策としてあげておりますが、図書館全体のサービス等について、利用者アンケートの実施を今年度末に予定しております。3点目に、石橋図書館で行っている隣接利用サービスにつきまして、今後廃止に向けて調整を検討していきたいと考えております。こちらは本来北摂地域の広域利用サービス開始の際に統合・廃止すべきだった事案でもありますが、現在も継続している状況です。なお、逆に空港1丁目2丁目にお住まいの方が豊中市立蛸池図書館を利用する場合は隣接利用と同様に豊中市民と同じ待遇で利用が可能ですが、広域利用となったとしても、豊中市の図書館で資料を借りていただくことは可能です。広域利用の場合は予約ができず、貸出冊数が最大5冊までという市民との差異はありますが、制度の改善も含めて今後検討していきたいと考えております。

会 長 ご意見やご質問はありますか。

委 員 利用者アンケートについては以前の協議会で常時行うことが提案されていましたが、どのような形で実施されるのですか。

事務局 アンケート結果の集計や分析が必要ですので、今回は時期を区切って実施予定です。

会 長 これまではどのような形でアンケート調査を行っていたのですか。

事務局 電子図書館に関する利用者アンケートは前年度にWEB上でのみ実施しましたが、今回は図書館利用に対する全体的なアンケートですので、紙ベースでも来館者へ渡し、回収箱を館内に設置する形で検討しております。

委 員 「図書館の利用」や「満足度」など、アンケートのタイトルはもう決まっていますか。

事務局 現在検討中ですが、良い点と悪い点どちらの意見もとれる形が良いと考えております。

委 員 タイトルが漠然としていると回答もあやふやなものが多くなってしまいますので、方向性を定めることが重要だと思います。

事務局 アンケート項目の内容やタイトルを検討してまいります。

会 長 隣接利用についてはあまり知られてないサービスではないでしょうか。

事務局 過去からの運用で、協定なども結んでいない状態で行っておりますので、見直しが必要と考えております。

会 長 それでは、令和6年度第2回の協議会を終了いたします。